

保護者の皆様

令和8年10月8日

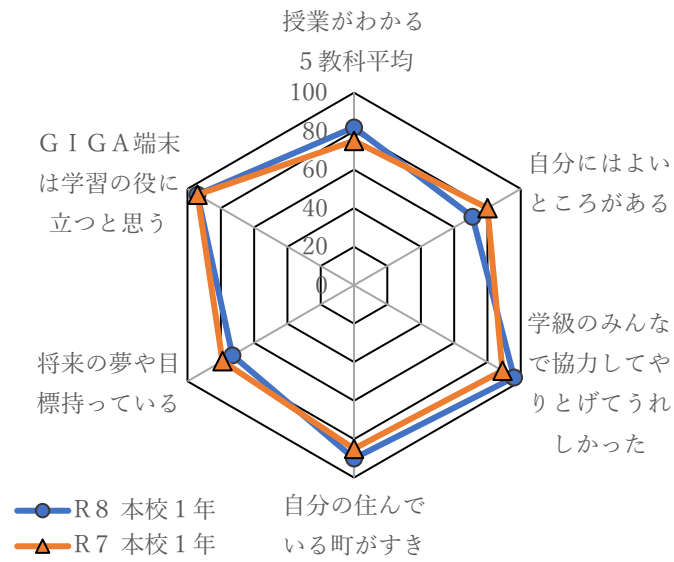
川崎市立今井中学校
校長 小林 格

令和8年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査
結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月9日（木）、4月14日（火）に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月23日（木）5月21日（木）に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、各種説明会等でもお伝えします。

- 【学校教育目標】 心身の健康 自他の尊重 生き甲斐の発見
- 【学校経営方針】 子どもに寄り添い子どもを真ん中にした教育活動
～学び合い・認め合い・高め合い～
- 【学校経営重点4項目】 確かな学力 豊かな心 健やかな心身 生きる力

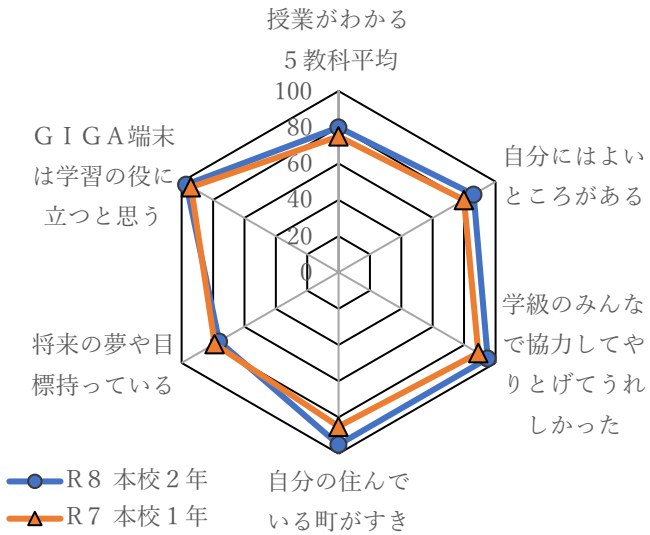
令和8年度 川崎市学習状況調査 1年生



	5教科正答率 知識・技能	5教科正答率 思考・判断・表現
R8 本校1年	75	65
R8 全体1年	69	54

- 「5教科がわかる」は82ポイント、全体は69ポイントでした。学校の授業が「わかる」実感が高い一方、学校の授業以外での学習状況が35ポイントという結果もみられるため、学校経営重点4項目の一つである「確かな学力」を目指して、授業と連動した家庭学習のルーティン化を進めます。
- GIGA端末の学習への有用性は94ポイントあり、学習計画立案の段階から活用していきます。
- 「自分にはよいところがある」は72ポイントでした。「将来の夢や目標を持っている」73ポイントと合わせて、自己有用感や自己肯定感を更に高めるために、キャリア在り方・生き方教育等を通して教科の学びが将来や社会と繋がっていることを実感し、自己の強みを自認してよりよい生き方を考える活動を行っていきます。

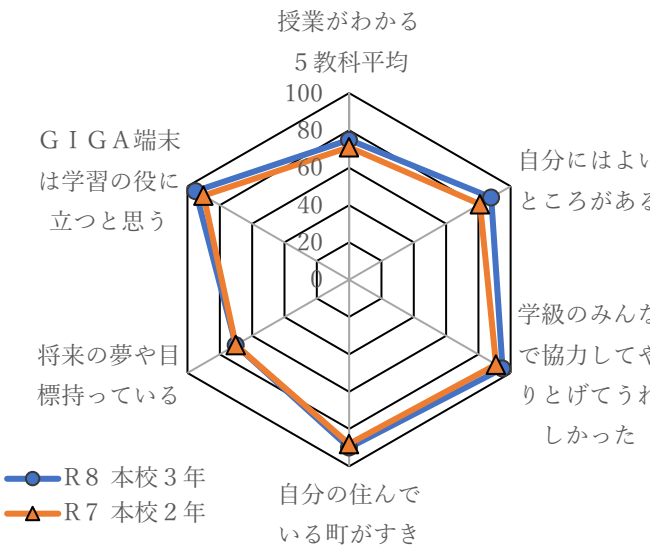
令和8年度 川崎市学習状況調査 2年生



	5教科正答率 知識・技能	5教科正答率 思考・判断・表現
R8 本校2年	71	61
R8 全体2年	61	47
R7 本校1年	78	69

- 「5教科がわかる」は80ポイント、全体は75ポイントでした。学習内容の高まり・深まりに合わせて既習事項の活用を更に重視し、授業で学習したことを普段の生活と結び付けて考えられるように更に進めていきます。
- 「学級みんなで協力してやりとげてうれしかったことがある」(95ポイント)と合わせて、「話し合いのときに考えや意見を進んで出している」(60ポイント)状況が昨年より高まっています。継続的な学級会や道徳の授業では、学校教育目標の「自他の尊重」が高まっている姿が多くみられますが、教科の学習の場面にも広く繋げ、生かせるように、意見を出しやすい環境作りを更に育てていきます。
- 「将来の夢や目標を持っている」(76ポイント)について、キャリア在り方・生き方教育等を通して、学校教育目標で掲げている「生き甲斐の発見」に繋げていきます。

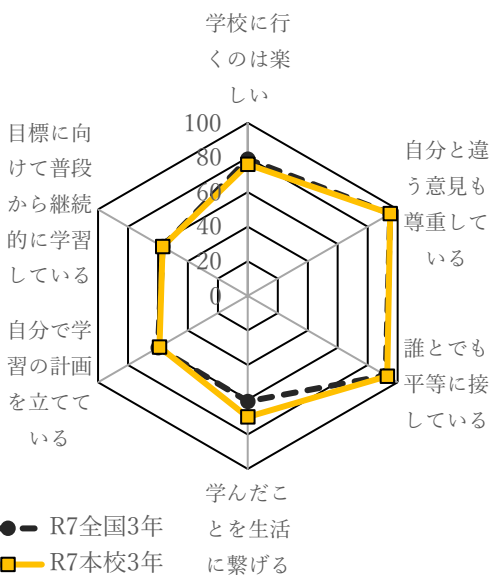
令和8年度 川崎市学習状況調査 3年生



	5教科正答率 知識・技能	5教科正答率 思考・判断・表現
R8 本校3年	71	64
R8 全体3年	60	51
R7 本校2年	75	65

- 「5教科がわかる」は75ポイント、全体は72ポイントでした。学校経営重点4項目の「確かな学力」の定着はみられます。
- 「学んだことを生活に繋げる」(70ポイント)の上昇率が低い傾向にあります。「自分で学習の計画を立てている」(59ポイント)と合わせて、授業で学んだことがどこに向かっていくのかを見つめ直し、学校教育目標の「生き甲斐の発見」に確実に繋げていきます。
- 「自分と違う意見も尊重している」(95ポイント)、「自分にはよいところがある」(88ポイント)と、学校教育目標の「自他の尊重」の成熟がみられます。

全国学力・学習状況調査 3年生



- 「5教科がわかる」は75ポイント、全体は72ポイントでした。学校経営重点4項目の「確かな学力」の定着はみられます。
- 「学んだことを生活に繋げる」(70ポイント)の上昇率が低い傾向にあります。「自分で学習の計画を立てている」(59ポイント)と合わせて、授業で学んだことがどこに向かっていくのかを見つめ直し、学校教育目標の「生き甲斐の発見」に確実に繋げていきます。